

山行報告書

日時	2015年7月25日(土)～26日(日)	天候	25日(晴)・26日(雨)
山名	県連登山学校 中級コース 第四回講習 鹿納谷(沢)		
CL	松山講師	参加者	高田
(コース)	<p>25日18:00～22:00翌日の事前講習(入渓の説明・諸注意・装備確認・懇親会)於菅原公民館(宿泊)</p> <p>26日5:50菅原公民館発＝7:00入渓地P・・・7:10遡行開始・・・12:25林道・・・13:30入渓地P＝14:20菅原公民館ミーティング 15:00解散</p>		
(コメント)	<p>今回は沢の講習でしたが、私はこれまでほとんど全く経験がない中での受講でした。当日は台風が接近しており遡行中は暴風雨で、水量も増水しており通常の山行では中止になると思われませんが、経験豊富な講師陣の判断で開催されました。沢は天気の良い時でさえ危険が伴うと思いますが今回は悪条件な状況下であったため水の怖さを殊更知り、お互いの安全を確保することの大切さをより痛感しました。以下 今回学んだことです。</p> <p>・1mの滑落は半身不随になる可能性がある。2mの落下は命を落とす危険がある。(今回 私は約2mの高さの岩を登ったあと、後続の人に長いスリング等で補助をする措置を取らなかったため、講師に厳しく注意を受けました。)</p> <p>・遡行中は前後の人と間隔を詰め過ぎない。(必ず目が届くようにする。)誤って流されても気づかれない。高巻きをする時も一般道ではないのではぐれやすい。また 沢の中、付近では水の音で人の声がかき消されてしまうので危険な状況に落ちいても周囲の人に気付かれにくい。</p> <p>・危険と思われる箇所ではためらわず、面倒がらず、自分を過信しすぎずロープを素早く出す。またロープを出さない場所でも手やスリングをさし出したり、ザックを引き上げたりして後続者のフォロー、また前の人に登るときにはお尻を持ち上げたりして補助をする。</p>		
費用概算	<p>(交通費/人) 4,000円</p> <p>(その他/人) 菅原公民館 宿泊費700円</p>		

(2015.04.09改訂)